

# 日本共産党姫路市議団が来年度(2009年)予算要望懇談会を開催 いのちと地域を守る市政実現を



右から森・谷川市議、杉本県議、大脇、入江市議

## 谷川市議が司会し、大脇市議が報告

日本共産党姫路市議団は8月22日姫路市自治福祉会館で来年度(2009年)予算要望懇談会を開催しました。これには杉本ちさと県議、大脇・谷川・森・入江の各市議が出席し各労組、民主団体、党支部・後援会など19人が参加しました。事

前に5団体から文書で予算要望が出されていきました。谷川まゆみ市議が司会し杉本県議が次のように挨拶しました。

「井戸知事と自民、公明、民主党は新行革プランで収支不足を理由に今後10年間に1兆2千億円の事業

を削減し福祉・教育・医療をばっさり削減、第2事業で健康福祉事務所(保健所)や県税務事務所など地方機関111事務所を

40削減、71事務所に大幅削減しようとしています。また

井戸知事は表向きは道州制に消極的に見せながら関西広域連合設立の副本部長になり副本部長の関経連・秋山会長とともに

「関西州」をつくる先頭に立っています。合併など地方自治が大きな攻撃を受けている現在、住民とともに福祉・暮らし・教育を守るため

ともにがんばりましょう」と挨拶しました。

大脇市議団長は「姫路市政も後期高齢者医療制度や障害者自立支援法応益負担など国の悪政の下請け機関になっています。石見市政も二期目に入りさまざまな問題点が出てきています。8月9日の長崎原爆投下の日に『南京の真実』と称する『南京大虐殺はなかった』という戦争の歴史を公然と捏造する映画の上映会を姫路市が後援するなど

許せません。同時に民主勢力の側も『姫路障連協』の結成や、8月30日には小中一貫校問題の『教育シンポ』も取り組まれ反撃も始まっています。市議団も4人が力を合わせ頑張ります」と報告しました。

8月22日国鉄退職者組合兵庫支部が後期高齢者医療制度廃止、70歳以上の医療費負担は1割に、保険料の年金からの特別徴収(天引き)は止めることなどを市に要請しました。同席する正面手前に大脇市議、向こう左から入江・森・谷川の各市議。



## 公約実現めざしてがんばります

市議員  
大脇和代



市議員  
谷川まゆみ



市議員  
森ゆき子



市議員  
入江次郎



## イラク帰還兵、ウールソン氏講演会

# 「戦争はもういやだ」に105人参加

## 日本共産党市議団から大脇・森市議も参加



「戦争は人の心」を忘れさせ、少女の命は百ドル、ヤギは二百ドル  
外交問題解決は戦争手段ではなく、9条の精神で

はりま宗教者9条の会主催の「イラク帰還兵」アッシュ・ウールソン氏の講演会が8月20日、姫路市市民会館で開催され105名が参加しました。日本共産党姫路市議団から大脇和代市議と森ゆき子市議が参加しました。アッシュ・ウールソン氏は米ウイスコン州ランダー市生まれ。父は煙突掃除夫。ウインズコン大学在学中、学資返済のため「州兵」と

なりイラク進攻開始で派遣される。帰国後「反戦帰還兵の会」に参加、現在シアトル北部のベリンガン在住。今年5月に幕張で開催された「9条世界会議」へ向けた広島千葉の平和行進（ピースウォーク）を3ヶ月半かけ貧困と戦争の廃絶を訴えながら歩きとおしました。

講演会は青木敬介氏が主催者あいさつを行い、憲法9条・メッセージ・プロジェクト（略称・K9MP）の柴野徹夫氏（ジャーナリスト）が憲法を守るため「もはやマスメディアが『警鐘』を乱打しないのなら私たち市民が真実を語り広げるしかありません」とイラク帰還兵講演キアラバンの行動とピースウォークでのウールソン氏の活躍を紹介しました。

ウールソン氏は「戦争は人間の心を忘れ、流れ弾で死んだ少女の命は百ドル、ヤギは二百ドルの値打ちだったこと、派遣兵にはうつ病・PTSD、自殺が多発し結婚ができない」「イラク戦争は米石油産業や軍需産業の利益ために継続させられている」「人間として外交問題解決に戦争という手段を乗り越える必要がある」と指摘し「9条は日本にとってだけでなく世界平和にとって大事」と強調しました。



今年、大幅値上げになった国民健康保険料について、国保学習会で報告する大脇市議。

高齢者医療制度の不服審査請求をおこなう姫路年金者組合の皆さん方をはじめとする方々と森ゆき子市議

